

令和5年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
日常生活活動学 I		講義	堂脇 ゆかり	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
リハビリテーション医学の中でADLは大きな領域をしめる。リハビリテーションチームの一員である理学療法士として、活動の視点から障害を捉えていく。日常生活活動学 I ではADL総論として概念、障害との関連、評価法、身の回り動作などについて学習する。また、車いす、杖などADLを支援する機器についても学習する。				
授業の到達目標				
1. ADLの概念を理解する。 2. ICFを習熟する。 3. ADL評価の意義・項目・方法を理解し実施できるようになる。 4. 車いす、各種杖についての知識を深める。				
授業計画				
回	内容			
1	ADL概念と定義			
2	ADLとQOL			
3	ICF① 構造			
4	ICF② 特徴			
5	ADL評価の目的・意義			
6	代表的な評価法① B.I.			
7	代表的な評価法② FIM			
8	代表的な評価法③ FIM			
9	代表的な評価法③ その他の評価法			
10	杖① 種類			
11	杖② 車いす①			
12	車いす②			
13	車いす③			
14	臨床でのADL			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	20%	ノート・課題の提出 期限の遅れや内容に不備があれば減点する。		
小テスト	60%			
平常点	20%	授業への参加態度など。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学専門分野 日常生活活動・生活環境学 第6版	鶴見隆正・隆島研吾 編集		医学書院	
実践リハビリテーションシリーズ脳卒中の機能評価SIASとFIM(基礎編) 1版	千野直一 他編著		金原出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学専門分野 理学療法評価学 第3版	内山靖 編集		医学書院	
自由記載				
備考				